

レベル：初級
領域：「医療」

2019年度

一般社団法人 日本臨床心理士会 臨床心理講座

医療機関における心理検査の実践的活用

講座の内容：臨床心理士にとって、現場で学んで身につけていくことが多いというのは誰もが実感することです。一人職場も多いなかで、「これでいいのか？」と迷いながら業務を行っている場合も少なくないと思います。そのため、「医療で働く上でこれだけは知っておこう」という基礎知識の確認や、心理検査をどう活かすかなど、日ごろ皆さんが現場で工夫しておられると思われる内容について皆で学び合う講座を企画しました。

内容は、講義と、参加者によるグループディスカッションを組み合わせて行います。長らく医療の現場で働いてきた医療保健領域委員会の委員が講師を担当いたします。この講座に参加した皆様が、お互い励まし合い、体験を共有できるような交流の場となることも期待しています。特に医療での経験年数が少ない方々の積極的なご参加をお願いし、ご案内申し上げます。

なお、当講座は、平成28年10月23日に東京ビッグサイトで開催した《平成28年度 日本臨床心理士会 定例研修会 I 第23回医療保健領域研修会・分科会3「医療機関における心理検査の実践 ～心理検査を治療・支援に活かす～」》と同じ素材を用いた内容になりますが、さらに詳しい説明、話し合いを行う予定です。実際の事例をもとに、バッテリーの組み方、実施方法、報告書の作成、フィードバックの仕方など、心理検査を治療・支援に活かすための実践力を身に付けていただく時間にしたいと考えています。

講師：福田 由利（日本臨床心理士会医療保健領域副委員長：大石記念病院）

日時：2019年8月4日（日）10：30～16：30

場所：文京区本郷 2-27-8 ユニゾ本郷二丁目ビル 202 号室 当会研修室

<http://www.jsccp.jp/center/access.php>

参加資格：臨床心理士（5年目以内の方の参加を期待します）・大学院生
定員50名

受講料：社）日本臨床心理士会会員 5,000円
臨床心理士 非会員 8,000円
大学院生（臨床心理士資格未取得に限る） 3,000円

ポイント：2

申し込み方法：（社）日本臨床心理士会 WEB ページよりお申し込みください。

＜受付手順＞ WEB申込で送信してください。

↓

受付けた旨をメールで返信します。

＜手順の説明＞

↓

受講料のご入金

↓

「受講票」を送信します。